

書面協議の次第

推進委員より、令和元年度施策最終評価への助言をいただく手順

1 資料1、2の確認

2 資料4への助言（質問、意見）

資料3の「評価の見方」を確認した上で、資料5と並行して閲覧し、重点であるNEXT & NEWの施策を中心に助言をいただく

※助言（質問、意見）については、「ご助言（質問、意見）記入用紙」に施策番号及びページ番号を記入の上、文書記載してもらおう。特に支障がなければ、電子メールにて添付の上、担当まで送信いただく。

※いただいた助言については、関連する教育委員会の各所属に振り分け、回答を作成し、まとまり次第メールにて返信する。

※推進委員に確認後、「令和元年度 施策最終評価」冊子に転記し、公表する。

ご助言（質問、意見）記入用紙

ご芳名

◇資料1、2について（お気づきの点があれば、ご記載ください。）

◇資料4、5（令和元年度施策最終評価）について ※NEXT & NEWの施策を中心に

記載例

1 - (5) P9

指標1に設定されている家庭学習は、何を想定した家庭学習と捉えているか。また「中学2年生の1時間以上の学習」を家庭学習定着の指標としている理由は何か。